

平成29年 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
29	3	11時台	林業	10人未満	激突され	環境等	被災者は、自社の社有林の伐木作業中、昼休憩になっても被災者が戻らなかったことから同僚が捜索したところ、斜面横方向へ伐倒したシナノ木(樹高約20m、胸高径約40cm)の下敷きとなった状態で発見されたもの。
29	4	13時台	林業	10人未満	激突され	環境等	民有林の伐木作業をしていた被災者が、作業終了時刻になっても戻らないため、同僚が捜索したところ、シナノ木(樹高約25m)の下敷きになっているところを発見された。
29	6	7時台	林業	10人未満	激突され	環境等	被災者は、民有林の伐木作業に従事していた。離れた場所で集材作業を行っていた事業主が、被災者のチェーンソーの音が聞こえなくなったので、作業場所へ様子を見に行ったところ、伐倒した杉(樹高約26m、胸高直径27cm)の下敷きになっているところを発見した。
29	8	10時台	林業	10人以上29人	激突され	環境等	被災者は、国有林の間伐作業に従事していた。カラ松(樹高約30m)を伐倒作業中、伐倒方向が狂ったため、白樺(樹高約20m)に当たり、跳ね返った伐倒木の元口が退避していた被災者に激突し、被災したものの。
29	10	10時台	林業	10人以上29人	倒壊、崩壊	環境等	被災者を含む2名で立木の間伐作業のため現場に入場。被災時、被災者は単独でダケカンバ(広葉樹)の伐倒作業を行っていた。被災者がかかり木になっている木を伐倒するため、高さ約22メートル胸高直径約39センチメートルの木に受け口及び追い口を入れて倒した際、かかっていた木が外れ、伐根付近にいた被災者がその下敷きになっているところを発見された。